

平成28年（2016）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、76万7,900人
対前年（H27）同月比 +7万1,100人、+10.2%
～10月の過去最高を更新、外国海路客は前年度合計を上回った～

入域状況

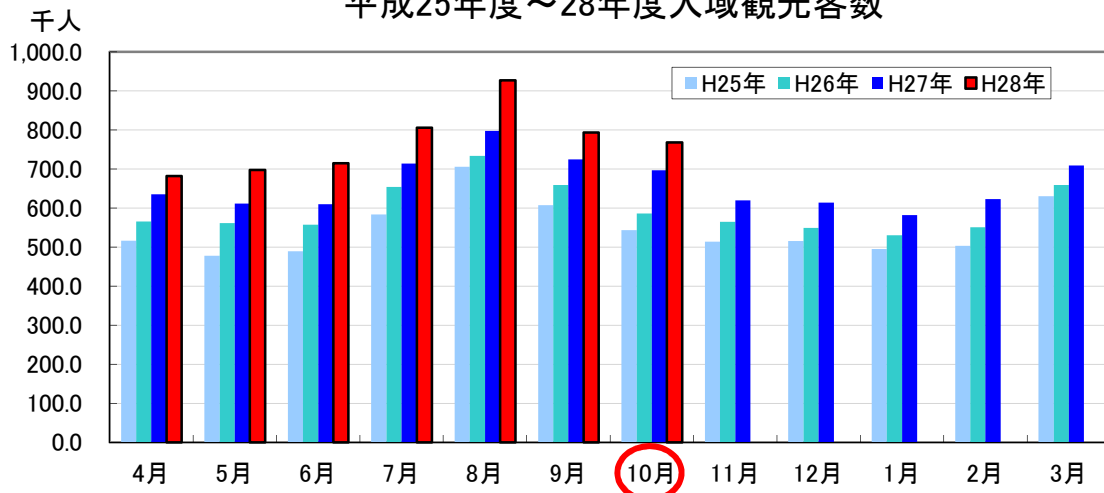
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	74.6%
外国客	194,700 人	145,100 人	+ 49,600人	+ 34.2%	25.4%
合計	767,900 人	696,800 人	+ 71,100人	+ 10.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	77.0%
外国客	171,100 人	127,800 人	+ 43,300人	+ 33.9%	23.0%
合計	744,300 人	679,500 人	+ 64,800人	+ 9.5%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、離島及びLCC等の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

11月は、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、国慶節の連休に伴った旅行商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、台湾及び韓国を中心に前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと、クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

11月は、冬場に入りクルーズ船は落ち着くものの、下旬に韓国・釜山ー那覇路線における運行再開があることや、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	292,000 人	279,300 人	+ 12,700人	+ 4.5%	50.9%
関西方面	110,500 人	107,600 人	+ 2,900人	+ 2.7%	19.3%
福岡方面	70,100 人	69,400 人	+ 700人	+ 1.0%	12.2%
名古屋	46,700 人	43,400 人	+ 3,300人	+ 7.6%	8.1%
その他	53,900 人	52,000 人	+ 1,900人	+ 3.7%	9.4%
合計	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	100.0%

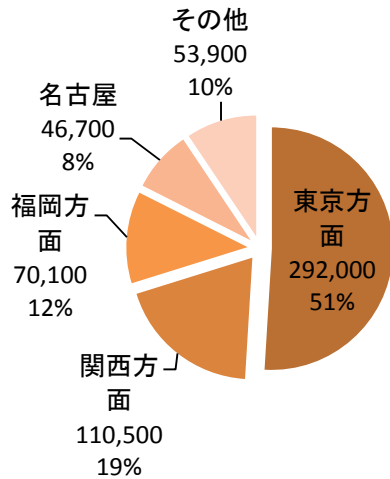
※国内海路客3,000人を含む(鹿児島2,600人、大阪100人、神戸100人、その他200人)

外国客 国籍別入域状況

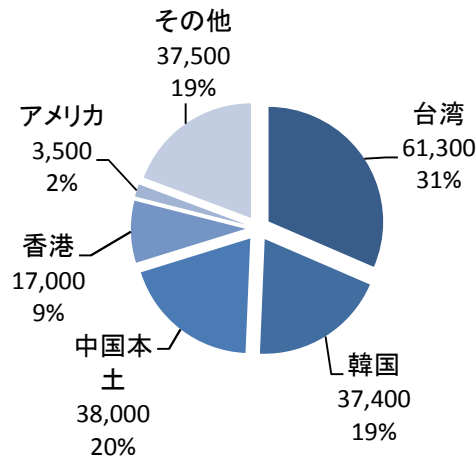
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	61,300 人	61,300 人	48,400 人	+ 12,900人	+26.7%	31.5%
韓国	37,400 人	37,400 人	27,000 人	+ 10,400人	+38.5%	19.2%
中国本土	38,000 人	38,000 人	26,100 人	+ 11,900人	+45.6%	19.5%
香港	17,000 人	17,000 人	16,200 人	+ 800人	+4.9%	8.7%
アメリカ	3,500 人	3,500 人	1,400 人	+ 2,100人	+150.0%	1.8%
その他	37,500 人	13,900 人	26,000 人	+ 11,500人	+44.2%	19.3%
合計	194,700 人	171,100 人	145,100 人	+ 49,600人	+34.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	43,500 人	43,500 人	+19.2%	35.2%	17,800 人	17,800 人	+49.6%	25.0%
韓国	37,100 人	37,100 人	+37.9%	30.0%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	19,900 人	19,900 人	△1.0%	16.1%	18,100 人	18,100 人	+201.7%	25.5%
香港	14,700 人	14,700 人	+5.8%	11.9%	2,300 人	2,300 人	+0.0%	3.2%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	+118.2%	1.9%	1,100 人	1,100 人	+266.7%	1.5%
その他	6,000 人	6,000 人	+25.0%	4.9%	31,500 人	7,900 人	+48.6%	44.3%
合計	123,600 人	123,600 人	+19.7%	100.0%	71,100 人	47,500 人	+70.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、羽田－那覇及び宮古路線や、成田発LCCの入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

11月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

10月は、伊丹－那覇や、関西－宮古・石垣の離島路線の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

11月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

10月は、各航空会社による個人旅行商品を中心に販売状況が良好だったこと等から、前年を上回った。

11月は、個人・団体旅行の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

10月は、各航空会社による航空路線の拡充や、LCC等の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

11月は、団体旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

10月は国慶節による旅行需要や、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充や、引き続き、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

11月は、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

10月は、個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。

11月は、他方面との競合が懸念されるものの、各航空会社による販売取り組み強化の動きがあることや、下旬にはチェジュ航空の釜山－那覇路線の運行再開の予定があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

10月は、国慶節による旅行需要があったものの、他方面との競合や、航空路線の減便による影響があったこと等から、前年をやや下回った。

11月は、中国国際航空の天津－那覇路線の運休が懸念されるものの、北京－那覇路線の便数が継続されること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

10月は、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の販売状況が好調だったことや、上海、厦門、広州及び舟山発クルーズ船の寄港があったこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。

11月は、南京－那覇路線の増便があること等、前年同月に比べて航空路線の拡充があることから、堅調に推移する見込み。

香港

10月は、個人旅行を中心に好調だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充や香港発クルーズ船の寄港が同じ回数あったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

11月は、各旅行会社による離島やスポーツ関連商品造成等の取り組みがあることや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、好調に推移する見込み。